

# シラバス

教 科	科 目	単 位 数	学 年	コ ー ス	組
理 科	N 物 理	2	3	GA	5~8

教 科 書	総合物理1 (数研出版)	副 教 材	セミナー 物理基礎+物理 (第一学習社)
	総合物理2 (数研出版)		良問の風 物理 (河合出版)

科 目 の 目 標	<p>高校で学習した範囲を改めて確認するとともに問題演習を行うことで,単元の理解を深め,応用力を身に付ける。</p>
-----------------------	------------------------------------------------------------

科 目 の 概 要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 物理全般に関する基本事項を確認し,確実に修得する。</li> <li>2. それぞれの単元における公式を理解し,公式から現象をイメージする。</li> <li>3. 物理全般の入試問題に対応できる力を身に付ける。</li> </ol>
-----------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

観点別評価			
3 観 点	○「知識・技能」	○「思考力・判断力・表現力」	○「主体的に学びに向かう態度」
10 の 力	①「知力・学力」	②「課題対応力」 ③「論理的思考力」 ④「原因分析力」 ⑤「傾聴力」 ⑥「受信・発信力」	⑦「協働力」 ⑧「行動力」 ⑨「自己管理能力」 ⑩「自己実現力」
観 点 の 評 価	物理問題の基本的な概念や原理法則を体系的に理解するとともに,事象を科学的に解釈したり,表現・処理したりする技能を身に付ける。	自然現象を多面的に捉え,論理的に考えることができる。また,事象の特徴を的確に説明することができる。表・式・グラフを相互に関連付けて考察し,問題の解決のための方法を見出すことができる。	粘り強く考え科学的根拠に基づいて判断できる。問題解決の過程を振り返って考察を深められる。評価・改善を主体的に行うことができる。
評 価 の 方 法	定期試験の得点	定期試験の得点および課題提出や出席状況等を含めた総合評価	課題提出や出席の状況等

# シラバス

学 習 計 画		
学期	学 習 内 容 ( 単 元 )	単 元 別 学 習 目 標
1  学  期	第1編 力と運動 第1章 運動の表し方 第2章 運動の法則 第3章 仕事と力学的エネルギー  <p style="text-align: right;">【1学期 中間試験】 5月18日～21日</p>	・力学分野の基本公式・考え方について，問題演習を行うことで理解を深める。 ・力学分野の問題を見たときに，どの単元の問題なのかを見極める力を付ける。 ・力学分野について，大学入試に対応できる力を身に付ける。
	第1編 力と運動 第4章 運動量の保存 第5章 円運動と万有引力  <p style="text-align: right;">【1学期 期末試験】 7月1日～7日</p>	・力学分野の基本公式・考え方について，問題演習を行うことで理解を深める。 ・力学分野の問題を見たときに，どの単元の問題なのかを見極める力を付ける。 ・力学分野について，大学入試に対応できる力を身に付ける。
2  学  期	第2編 熱と気体 第1章 熱と物質の状態 第2章 気体のエネルギーと状態変化 第5編 原子 第1章 電子と光 第2章 原子と原子核  <p style="text-align: right;">【2学期 中間試験】 10月13日～16日</p>	・熱・原子分野の基本公式・考え方について，問題演習を行うことで理解を深める。 ・熱・原子分野の問題を見たときに，どの単元の問題なのかを見極める力を付ける。 ・熱・原子分野について，大学入試に対応できる力を身に付ける。
	○大学入学共通テスト，一般入試対策演習  <p style="text-align: right;">【2学期 期末試験】 12月1日～7日</p>	・問題演習や解説を通して，大学入学共通テストや一般入試に向けての学力を身に付ける。
3  学  期	○特別編成授業 生徒の進路および希望に合わせて受験講座と教養講座を設置する。	受験講座：大学入試問題に対応できる力を身に付ける。 教養講座：各自の興味・関心に合わせて，さまざまな分野の学習体験を通じて教養を深める。